



(写真) @ConVzlaComando “MCM 氏・ゴンサレス候補 大統領選の結果を否定する抗議集会を実施”

2024年7月29日(月曜)

政治

- 「[検察庁 野党によるサイバー攻撃を主張](#)
～MCM 氏・ロペス VP 党首らが関与?～」
- 「[CNE 投票記録詳細の公開に深刻な遅れ](#)」
- 「[CNE マドゥロ大統領の当選式を実施](#)」
- 「[野党 ゴンサレス候補の当選確定を発表](#)」
- 「[マルケス候補 第一次速報の内容に疑義](#)」
- 「[野党支持者 大統領選の抗議行動を実施](#)
～Foro Penal 逮捕者177名、死者11名～」

経済

- 「[マドゥロ大統領の再選発表で債券価格が下落](#)」

2024年7月30日(火曜)

政治

- 「[MCM・ゴンサレス候補に指名手配?](#)
～コスタリカ政府 両名に亡命を提案～」
- 「[野党 独自の集計結果をネット上で公開](#)」

国際

- 「[米国政府 投票記録の詳細発表を要請](#)
～選挙結果認められない場合、個人制裁か～」
- 「[その他各国の大統領選に対する反応](#)
～マドゥロ政権 外交官追放、国際線停止～」
- 「[カーターセンター 米国帰国後に発表か](#)」
- 「[マドゥロ政権 伯に投票記録詳細の公開約束](#)」

2024年7月29日（月曜）

政治

「検察庁 野党によるサイバー攻撃を主張

～MCM氏・ロペスVP党首らが関与?～」

（今回のベネズエラ・トゥデイの記事は、7月29日～30日の出来事をまとめて紹介している）

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1095](#)」にて触れたが、「選挙管理委員会（CNE）」のエルビス・アモロソ代表は、大統領選の一次速報発表の際に「CNEの集計伝達システムが攻撃を受けて、速報の発表に遅れが生じた」と言及しており、この攻撃について捜査を行うよう検察庁に要請していた。

7月29日 タレク・ウィリアム・サアブ検事総長は、記者会見にて「CNEの集計伝達システムがサイバー攻撃を受けた」と説明。

一連のサイバー攻撃には、マリア・コリナ・マチャド氏（以下MCM）や「大衆意思党（VP）」のレオポルド・ロペス党首、VPのレスター・トレド氏などが関与している可能性がある」と指摘した。

「検察庁は今回のサイバー攻撃の首謀者を特定するべく調査チームを組織した」

「我々が、今回のサイバー攻撃の首謀者はベネズエラ司法から逃亡したレスター・トレド氏だという情報を受け取っている。また、レオポルド・ロペス氏、MCM氏も本件に関与しているとの情報を受けている」

「今回のサイバー攻撃は、北マケドニアが起点となっており、CNEのデータを操作しようという意図が存在したが、幸いなことにその試みは成功しなかった」「しかし、プロセスと結果は遅れている」

と述べた。

また、「常に暴力を志向する過激勢力が今回の選挙結果を否定しようとする動きに警戒している」と指摘。

以下の事項は犯罪に当たると警鐘を鳴らした。

- ・大衆扇動（3～6年の懲役刑）
- ・公共道路の障害物設置（6～10年の懲役刑）
- ・憎悪の流布（10～20年の懲役刑）
- ・公務執行妨害（1～2年の懲役刑）

「CNE 投票記録詳細の公開に深刻な遅れ」

大統領選の一次速報発表から2日が経過したが、CNEは投票記録の詳細を公表していない。

過去の大統領選やその他選挙では、結果を発表した翌日には各州・各市・各投票会場の投票数をCNEのウェブサイト上で閲覧することができていた。

しかし、そもそもCNEのウェブサイト自体にアクセスすることが出来ない状態が続いており、7月30日（日本時間で7月31日時点）でもこの問題は解決していない。

前述の通り、検察庁はサイバー攻撃を主張しており、このサイバー攻撃を理由に選挙記録詳細の公表が遅れていると説明している。

投票記録の公表の遅れは、票数改ざんの疑念を拡大させる。

後述するが、各国政府が今回の大統領選の投票記録の詳細を公開するようCNEに求めており、マドゥロ政権は厳しい立場に追い込まれている。

「CNE マドゥロ大統領の当選式を実施」

7月29日 CNE は、マドゥロ大統領の当選確定式を実施した。原則としては、2025年～31年までのベネズエラ大統領が決定したことになる。

ただし、CNE は選挙記録の詳細を公表しておらず、国内外から選挙の信頼性が疑問視される中での当選式となり、批判の声が殺到している。

マドゥロ大統領は「過激派はクーデターを計画している」

「一連の謀略をグアイド2.0と命名したい」

「我々は既に1度この映画を見ており、今回の謀略は過去に見た映画に非常によく似ている」

「主役は平和と民主主義と国家の発展を求める国民であり、敵は憎悪を扇動する差別的なエリート集団だ」

「ベネズエラの団結と平和は不可逆である」

「我々は、複数の国が科した制裁という名の経済戦争と対峙し、弱者の権利の回復に全力を尽くす」と主張。

選挙結果を拒否する野党陣営と対峙する意志を表明した。



(写真) 大統領府

“大統領当選式にて演説を行うマドゥロ大統領”

「野党 ゴンサレス候補の当選確定を発表」

大統領選の翌日7月29日午後6時 MCM 氏とゴンサレス候補は記者会見を実施した。

MCM 氏は

「投票記録73.5%まで集計することに成功した」

「その結果、ゴンサレス候補の当選が確定した」

「全ての州・全ての地域でゴンサレス候補の得票数がマドゥロの得票数を上回っており、未集計の投票記録の全てがマドゥロだったとしてもゴンサレス候補の当選は確定している」

「近いうちに投票記録を確認するためのウェブサイトを開示する」と説明した。

報道によると、野党による投票記録73.5%時点の集計では、ゴンサレス候補が6,275,182票の有効票を獲得。一方、マドゥロ大統領は2,759,256票を獲得したという。

また、同日の記者会見にて7月30日午前11時にミランダ州ロス・パロス・グランデス地区フランシスコ・デ・ミランダ通りの国連前にて、抗議集会を実施すると宣言。

「平和的な抗議集会を行う」「我々が多数派であることを国際社会に証明するために協力してほしい」と支持者に参加を呼び掛けた。

「マルケス候補 第一次速報の内容に疑義」

7月29日 独立野党候補として「Centrados」から大統領選に出馬したエンリケ・マルケス氏は記者会見を実施。CNE が発表した投票結果の信ぴょう性に疑問を呈した。

マルケス氏は

「第一次速報の結果が記された紙は、証人の監視の下、集計結果を取りまとめる会場で印刷されていなかった」「あの紙がどこで印刷されたのか私は知らない」「アモロソ氏は、あの当選結果を記した紙をどこから印刷してきたのかを説明する必要がある」と主張。

また、アモロソ代表が発表した一次速報の結果は、ニコラス・マドゥロ大統領の得票数が5,150,092票、エドムンド・ゴンサレス候補の得票数が4,445,978票(「[ベネズエラ・トゥデイ No.1095](#)」参照)。つまり、両者の票差は70万票ほどになる。

アモロソ代表は、一次速報で集計率80%と述べているため、残りの20%に相当する約240万票が未集計のため、一次速報の時点で当選者が確定していないと指摘している。

残りの20%を公開することは当選結果に関わるため公表する義務があるとの見解を示した。



また、MCM氏・ゴンサレス候補らが呼びかけた7月30日午前11時の抗議集会には非常に多くの支持者が駆け付けている。



非政府系団体「Foro Penal」は7月30日時点で確認されている抗議行動による死者数、逮捕者数を発表。

「野党支持者 大統領選の抗議行動を実施

～Foro Penal 逮捕者177名、死者11名～

一連の騒動を受けて、選挙結果を認めない野党支持者が抗議行動を実施。治安当局と対立し、治安が悪化している。また、抗議の意思を表明するための「カセロラソ」と呼ばれる鍋叩きも全国各地で確認されている。

大統領選の一次速報が公表されてから行われた抗議行動を理由とする死者数は11名、逮捕者数は177名と発表した。

亡くなった11名のうち5名はカラカス、2名はスリア州、2名はヤラクイ州、1名はアラグア州、1名はタチラ州と説明している。

ただし、治安当局が殺害したのか、与党支持者が殺害したのかは明らかにされていない。「Foro Penal」は野党系の団体であることを踏まえると、治安当局による殺害の場合は、そのように発表すると思われ、治安当局による殺害ではなさそうな印象を受ける。

また、サブ検事総長も抗議行動による治安当局の被害を訴えている。サブ検事総長によると、野党支持者の攻撃により負傷した警察・軍人は48名。死者は軍人1名で、アラグア州の野党支持者による銃の発砲が理由としている。

なお、必ずしもすべての抗議行動が平和的なものではないようだ。

報道では、ポリバル州・ファルコン州・ラグアイラ州など全国各地で故チャベス元大統領の銅像を破壊する抗議行動が確認されている。また、与党 PSUV の事務所を破壊、国立「ベネズエラ中央大学」への攻撃、投石や道路封鎖など暴力的な抗議も確認されている。

経 済

「マドゥロ大統領の再選発表で債券価格が下落」

「[ベネズエラ・トゥデイ No.1095](#)」で紹介した通り、大統領選の一次速報が公表される前は政権交代の期待の高まりを受けて、ベネズエラ債の市場価格が上昇していた。

しかし、マドゥロ大統領の再選発表、その後の騒動を受けてベネズエラ債の価格は下落している。

下表は7月29日(月曜)のベネズエラ債の終値。ベネズエラ国債・PDVSA社債ともに前日比(7月26日比)マイナスとなっている。

ただし、そこまで大きな下落率ではない。

また、7月30日(火曜)の終値は前日比でややプラスとなっている。

金融市場はメディアで報じられていたほどゴンサレス候補の当選を楽観視しておらず、大きなサプライズではなかったということだろう。

PRECIOS DEL MERCADO

VENEZUELA			
Título	Precio BID	Precio OFFER	Var. Bid 1 Día
VENZ 13.625 18 ILIQ	17,90	20,00	-1,23
VENZ 13.625 18 LIQ	20,30	21,60	-1,58
VENZ 7 18	14,00	15,30	-2,21
VENZ 7.75 19	15,30	16,55	-2,08
VENZ 6 20	13,90	15,45	-2,60
VENZ 12.75 22	18,85	20,35	-2,57
VENZ 9 23	16,60	18,00	-2,52
VENZ 8.25 24	16,35	17,60	-2,22
VENZ 7.65 25	15,95	17,20	-2,29
VENZ 11.75 26	19,05	20,15	-2,05
VENZ 9.25 27	18,85	20,10	-2,37
VENZ 9.25 28	17,65	19,00	-2,29
VENZ 11.95 31	18,85	20,10	-2,26
VENZ 9.375 34	20,05	21,60	-2,37
VENZ 7 38	14,85	16,15	-1,94
ELECAR 8.5 18	8,05	9,50	0,13

PDVSA			
Título	Precio BID	Precio OFFER	Var. Bid 1 Día
PDVSA 8.5 20	88,45	91,10	-0,82
PDVSA 9 21	12,85	14,10	-1,92
PDVSA 12.75 22	14,45	15,80	-2,25
PDVSA 6 22 NEW	11,00	12,15	-0,74
PDVSA 6 24	11,15	12,80	-2,52
PDVSA 6 26	11,50	12,70	-2,26
PDVSA 5.375 27	11,35	12,70	-2,27
PDVSA 9.75 35	13,15	14,45	-2,06
PDVSA 5.5 37	11,40	12,75	-2,28

(写真) Av Security

2024年7月30日(火曜)

政治

「MCM・ゴンサレス候補に指名手配？」

～コスタリカ政府 両名に亡命を提案～

カラカス首都区裁判所は MCM 氏とゴンサレス候補への指名手配命令を公表したとの噂が報じられている。

報道によると、MCM 氏とゴンサレス候補の指名手配は、Katherine Nayartih Haringhton 判事および Janeth Gómez Moreno 判事により命じられたという。

Katherine Nayartih Haringhton 氏は厳格な与党支持者。長年検事として活動しており、検事時代に野党政治家に不利な決定を何度も下してきた。

指名手配の理由は「テロ行為」。

国軍・国家警察に対して両名の逮捕を命じたと報じられている。

なお、7月30日午前に「大衆意思党 (VP)」のフレディ・スペラノ氏が国家警察に拘束されており、ゴンサレス候補が野党政治家への迫害を訴えている。

この報道を受けて、コスタリカ政府の Arnoldo André 外相は、MCM 氏およびゴンサレス候補に亡命を提案している。

「我々は MCM 氏およびゴンサレス氏に逮捕命令が出ているとの情報を得ている」

「コスタリカ政府として、彼らのコスタリカへの政治亡命を受け入れる用意がある」

と発表した。

この提案について MCM 氏はソーシャルメディア上で「我々が優先しているのはアルゼンチン大使公邸に亡命している仲間を保護すること」

「私の責任は人々とこの闘いを続けること」

「ベネズエラから、コスタリカ政府と親愛なる国民に感謝の意志を表明する」と回答。ベネズエラ国内に留まると理解できるコメントを投稿した。



María Corina Machado
@MariaCorinaYA

Agradezco la generosa hospitalidad del gobierno de Costa Rica como reacción a la brutal represión del régimen de Maduro en contra de los ciudadanos que defendemos los resultados de la elección presidencial del 28 de julio. Nuestra prioridad es la protección de nuestros compañeros asilados en la Embajada de Argentina. Mi responsabilidad es continuar esta lucha junto a la gente. Desde Venezuela, gracias al querido pueblo y al gobierno de Costa Rica.

(写真) @MariaCorinaYA

「野党 独自の集計結果をネット上で公開」

7月30日 野党陣営は、大統領選の独自の集計結果を公表した。

詳細は「[Resultados con Venezuela](#)」を確認されたいが、主だった部分を紹介すると、

投票テーブル30,026個のうち24,384の投票テーブルの集計が完了(開票率81.21%)。

投票率は60.19%。

ゴンサレス候補が7,119,768票(67%)。

マドゥロ大統領が3,225,819票(30%)。

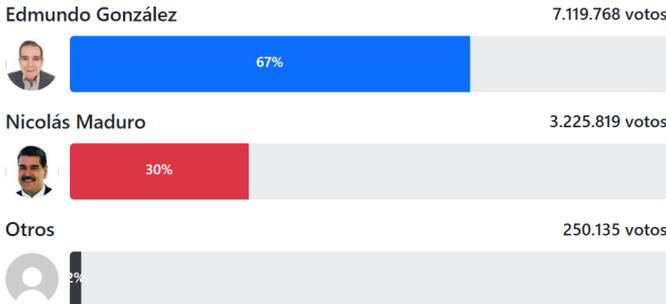
上記サイトから、州・市・投票所ごとの詳細を確認することも出来る。

現時点でCNEが投票記録の詳細を公開していないため、野党側の公表が唯一の大統領選の詳細になっている。

RESULTADOS CON VZLA

RESULTADOS - NACIONAL

Actas digitalizadas: 24.384 (81,21%)



INFORMACIÓN GENERAL



ESTADOS

Estado	Actas digitalizadas	Porcentaje
DTTO. CAPITAL	1.547	68%
EDO. AMAZONAS	108	54%
EDO. ANZOATEGUI	1.338	86%
EDO. APURE	534	88%
EDO. ARAGUA	1.509	93%
EDO. BARIINAS	945	92%
EDO. BOLIVAR	1.134	72%
EDO. CARABOBO	1.366	96%
EDO. COIEDES	415	92%
EDO. DELTA AMAC	174	70%
EDO. FALCON	1.062	89%
EDO. GUARICO	752	88%
EDO. LA GUAIRA	327	79%
EDO. LARA	1.444	72%
EDO. MERIDA	909	85%
EDO. MIRANDA	2.220	75%
EDO. MONAGAS	767	77%
EDO. PORTUGUESA	983	91%
EDO. SUCRE	1.033	93%
EDO. TACHIRA	1.231	97%
EDO. TRUJILLO	909	93%
EDO. YARACUY	691	91%
EDO. ZULIA	2.479	75%
EDO. NVA ESPARTA	507	94%

(写真) [Resultados con Venezuela](#)

国際

「米国政府 投票記録の詳細発表を要請
～選挙結果認められない場合、個人制裁か～」

ここからは大統領選を受けた諸外国の反応を中心に紹介したい。

最初に最も重要な米国政府の反応について紹介する。

7月29日 米国政府のブリンケン国務長官は「今回の大統領選の結果について、ベネズエラ国民の意志が反映されていないのではないかと考えており、複数の懸念を持っている」「選挙当局に対して投票記録の詳細を公開するよう求める」と言及した。

ブリンケン国務長官の発表後、米国ホワイトハウス国家安全保障問題担当の John Kirby 報道官はベネズエラの大統領選の結果について見解を表明。

「今回の大統領選がベネズエラ国民の意志を反映したものになっているのか複数の疑問を感じている」と指摘した一方で、

「ベネズエラの投票記録の詳細が公開されるまで、ベネズエラに関する決定は保留する」との方針を示した。また、「全ての票が公平に透明性をもってカウントされることは不可欠である」と補足。マドゥロ政権に透明性の確保を要求した。

なお、今回の発表が受け入れられない場合、米国政府はベネズエラに制裁を科すと報じられている。

公式な発表ではないが、米国政府が科すであろう制裁は経済制裁ではなく、マドゥロ政権関係者への個人制裁と報じられている。

「その他各国の大統領選に対する反応

～マドゥロ政権 外交官追放、国際線停止～」

米国以外の国の反応について紹介したい。

今回の大統領選については非常に多くの国が見解を表明しており、全てをフォローすることは難しいが、確認できた内容は以下の通り。

各国の反応は大きく分けて以下の3つに分類される。

- ・ CNE の大統領選結果を受け入れる
- ・ CNE の大統領選結果を詐欺と認識
- ・ CNE に投票記録の詳細公表を求め、認識を保留

「CNE の大統領選結果を受け入れた国」は、ボリビア・ニカラグア・キューバ・OPEC・イラン・ロシア・中国。これらの国はマドゥロ大統領に対して祝辞を送っている。

他、メキシコ政府も基本的に大統領選の結果を尊重する姿勢を示しているが、マドゥロ政権に投票記録の詳細公表を求めている。

「CNE の大統領選結果を詐欺と認識した国」は、アルゼンチン、ペルー、エルサルバドル。これらの国は大統領が明確に「大統領選は詐欺だった」と言及。ペルーに至っては「ゴンサレス候補が新大統領になったと認識する」との方針を示した。また、パラグアイ・エクアドルは大統領選の結果見直しを要請している。

他、「米州機構 (OAS)」のアルマグロ事務局長も「CNE の大統領選の結果発表を認めない」と宣言。マドゥロ政権に対して、野党側の発表を認めるか、選挙をやり直すかのいずれかを求めている。

現在のところ「CNE に投票記録の詳細公表を求め、認識を保留している国」が最も多い。

前述の通り、米国政府は同スタンスである。

また、スペイン・ポルトガル・ドイツなど EU は基本的にこのスタンス。

程度の差はあるが、チリ・ドミニカ共和国・パナマ・ウクライナ・ブラジル・コロンビア・英国なども同様のスタンスと言える。

日本の外務省も7月30日時点で外務報道官談話を発表。以下の通りのスタンスを表明している。

7月28日（現地時間同日）、ベネズエラ・ボリバル共和国において大統領選挙が実施され、29日（現地時間同日）、ニコラス・マドゥーロ・ベネズエラ・ボリバル共和国大統領（Mr. Nicolás MADURO, President of the Bolivarian Republic of Venezuela）が勝利宣言を行いました。

一方で、国内外からは票の集計を含む選挙プロセスの透明性に疑義が呈されています。

我が国は、投票した全てのベネズエラ国民の意思が尊重されるよう、投票結果の信頼性を裏付ける上で必要な全ての情報が公表され、大統領選挙プロセスの透明性が確保されることを求めます。

つまり、日本も「CNE に投票記録の詳細公表を求め、認識を保留している国」に分類される。

なお、国連のグティエレス事務局長も同様のスタンスを示している。

これら各国の反応を受けて、マドゥロ政権は強硬な姿勢を示している。

マドゥロ政権は、「ベネズエラ内政に関する介入」を理由にドミニカ共和国・パナマの空路停止を決定した。

7月31日から両国とベネズエラの国際線は一時的に停止する。

また、アルゼンチン、チリ、コスタリカ、パナマ、ペルー、ドミニカ共和国、ウルグアイの7カ国からベネズエラ外交官を全員撤退させると発表。また、ベネズエラに駐在する上記7カ国の外交官らに対して即時ベネズエラから撤退するよう要請した。

加えて、在ベネズエラ・アルゼンチン大使館は「大使館の電力供給が断たれた」と発表。「マドゥロ政権による嫌がらせ」と主張している。

「カーターセンター 米国帰国後に発表か」

外国の選挙監視団の動向についても確認したい。

「アフリカ連合 (UA)」は、今回の選挙結果を認める姿勢を示している。

米国の「カーターセンター」の監視団は、今回の選挙結果について見解を表明することなくベネズエラを離れた。

非公式情報によると、ベネズエラ国内で見解を表明した場合、監視スタッフの身の安全が保障できないとの認識からベネズエラを離れたという。今後、カーターセンターの監視団は米国にて発表を行う可能性がある。

なお、国連の「選挙専門家パネル」は元々、同選挙について見解は表明しない前提のため、特段の発表はしていない。

「マドゥロ政権 伯に投票記録詳細の公開約束」

一連の騒動は收拾の目途が立っておらず、混乱の一途をたどっている。

今回の騒動の仲介者として名前が挙がっているのは、ブラジルのルラ大統領である。

7月30日 米国のバイデン大統領とルラ大統領はベネズエラの大統領選について電話で意見交換を実施した。「Bloomberg」によると、この電話会談はバイデン大統領の要請により実現したという。

また、この会談の前日にルラ政権の顧問を務める Celso Amorim 氏がマドゥロ大統領と協議を行ったようだ。

「Bloomberg」によると、同協議にてマドゥロ大統領は Amorim 氏に対して、「国際社会の求めに応じて、大統領選の投票記録の詳細を公表する」と約束したという。

以上